

質 問 書

○質問書に関するお問い合わせ及びご回答（FAXまたはe-mail）は下記までお願いいたします。

DPI（障害者インターナショナル）北海道ブロック会議

〒060-0004 札幌市中央区北4条西12丁目1-55 ほくろうビル5F

TEL: 011-219-5687 FAX: 011-219-5688

e-mail: info_hokkaido@dpi-japan.org <http://www.dpi-japan.org/hokkaido/>

1. 今回、廃案となった「障害者自立支援法案」を厚生労働省は、臨時国会で、再提案すると明言していますが、採択の際にあなたは、賛成しますか、反対しますか。

- ① 賛成する
 ② 反対する
 ③ 修正が行われれば賛成する →その場合の修正内容

障害者がある方々、すべてに必要なサービスが行き届くようにするための必要な改革であると考えております。

2. 「障害者自立支援法案」の最大の焦点となった「応益負担（定率負担）」について、あなたはどのようなお考えですか

- ① 導入すべきである・導入はやむを得ない
 ② 導入には反対
 ③ その他 →その内容

導入にあたっては、低所得の方々へのきめ細かな配慮が必要だと思います。同時に、積極的な就労支援策を講じ、積極的な自立支援に努めるべきと考えます。

3. 自立支援法案では、障害程度区分の判定により、介護やグループホーム、日中活動の場など、利用できるサービスの種類や量が制約される可能性があります。その点についてどのようにお考えですか

- ① 財源不足であるため制約するべきである・制約はやむを得ない
 ② 制約を行うことには反対
 ③ その他 →その内容、特に考えておられる内容

利用にあたって一定のルールが必要であると考えますが、必要なサービスは必ず確保されるべきであると考えます。

4 自立支援法案では、精神障害者通院医療費公費負担制度、更生医療及び育成医療への利用者負担の導入について、あなたはどのようなお考えですか

- ① 導入すべきである・導入はやむを得ない
- ② 導入には反対
- ③ その他 →その内容

導入にあたっては、低所得の方々や、育成医療の対象となる若い世帯へのきめ細かな配慮が必要であり、十分な議論が必要だと考えます。

5. 小泉首相は来年度予算の概算要求基準について、社会保障費を2200億円圧縮するよう財務大臣に指示を出しました。あなたは社会保障費の圧縮について、どのようにお考えですか。また、社会保障の財源をどこに求めるべきとお考えですか。

- ① 構造改革路線に基づき圧縮すべきである・圧縮はやむを得ない
- ② 増額すべきである
- ③ その他 →その内容

少子高齢化の中で、持続可能なものとし、将来不安を解消するためには、社会保障制度の一体的改革が必要であり、医療、介護、年金制度、社会保険庁改革など、一体的な改革を進めていかなければならないと考えます。

社会保障費の財源として、今考えているもの

少子高齢化の中で、あらゆる社会保障制度を持続可能なものにし、将来に対する不安を解消するためには、税制の抜本的な改革をはじめ、給付と負担のあり方や、各制度間の調整が必要であり、制度全般の在り方を議論しながら必要財源を確保すべきと考えます。

ご協力、どうもありがとうございました。

ご氏名	飯島 夕雁
選挙区	第10選挙区
所属	自由民主党